

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成26年2月21日			
所属学部・研究科	法学部 4年(5年生) 年次(留学開始時点)			
留学先大学	グラーツ大学(国名:オーストリア)			
所属学部・学科等名	法学部			
在籍身分	交換留学生			
留学期間	平成25年9月1日～平成26年1月31日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: なし			
	ビザ申請先:			
	取得方法, 提出書類:			
	手続きに要した日数:			
その他必要な事前手続き	なし			
出国年月日	平成25年8月28日			
経路	成田～フランクフルト～シュツトガルト～グラーツ			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有(・大学関係者) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	有り 1日目授業登録、3日目学籍登録、学内見学、3日目保険案内			
帰国年月日	平成26年2月3日 2日の予定だったが雪のため一日延びた。			
経路	グラーツ～フランクフルト～成田 (当初ウィーン経由で帰国予定だったが、雪のため変更されて困った。)			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	610,000	円	
	内訳	渡航費	0	円(マイルで渡航)
		保険料	80,000	円
		教科書代(学費)	60,000	円
		宿舍費	200,000	円
		食費	150,000	円
		その他(通学費)	20,000	円
(雑費)	100,000	円		
(費)		円		
3. 授業について				
25年 冬学期	10月 9日	～	1月 27日	

年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	9月7日から3週間ドイツ語の事前学習があった。
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	法学部の場合よほど本気で事前学習をしないと厳しい。ドイツで一年留学したが、オーストリアとは相違がある。
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()
住居の広さ	約20 m ² 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有(妻) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 便所(水洗ではない) <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット設備のみ <input type="checkbox"/> その他 ()
住居費	1ヶ月当たり (現地通貨) 約 40,000円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	入居日に事務所に行き、鍵をもらうだけで入居。マスターはいない。説明もなく入居するので不安がある。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()
掛け金は	年間 80,000円 補償額 死亡 1000万円, 入院1日 1万円 その他 ()
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について 不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	受診しなかったので分からない。

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	スポーツを受講しようと思ったが、授業が終わる時刻には交通機関がなくなるので受講できなかった。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
旅行に行く際はスリに注意。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
ドイツでは学生はみんなゼメスターチケットが購入できたが、グラーツでは26歳までしか購入できない。日本の大学と異なり。事務所の手続できる時間が短く半日で、あまり親切ではない。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成26年9月 (当初の卒業予定年月 平成25年3月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input checked="" type="checkbox"/> その他 (具体的に3年次に1年間ドイツ、5年次後期に半年間オーストリアに留学)	
現在の状況および今後の予定・進路等	卒業目指して活動、9月にソフトボールでの全国大会に出場する。 進学、就職いずれかしたい。	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	受験と就活中	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
グラーツはドイツ語だけでなく英語での説明が行われる。 ドイツ語も文法よりも会話ができることが重要と感じた。		

学習の概要に関するレポート

私は前回ドイツのチュービンゲン大学留学に続いてオーストリアのグラーツ大学に2回目の留学をさせてもらった。2つの大学を比較しつつレポートを作成する。

いずれの大学でも学期前に語学コースが設定されている。グラーツ大ではドイツ語コースクラス分けのためにインターネットテストと面接が行われる。インターネットテストは手順が理解しにくかったため質問した。これでOKと係りの人に言われて安心していたら全部終わっていなかった。面接では会話が思いのほか弾み私はB1/1のクラスに入れてもらった。メールでクラス分けの連絡を受ける。チュービンゲン大学では1時間程度のクラス分けのプリントテストが行われ、口答試験が後に行われる。後日クラス分けは掲示によって発表される。

講義はいずれの大学も3週間行われる。グラーツ大は付属機関の語学専門学校が講義を担当する。チュービンゲン大は大学内部の国際事務局が講義を担当する。グラーツ大は講義後留学生が一堂に会し決められた3日間学生登録や保険について説明が行われる。チュービンゲン大ではクラスごとにアシスタントの学生が付き、午後のプログラムのアドバイスをしてくれる。学生登録、市役所登録、保険などの説明がされ、映画鑑賞やボーデンジーへの旅行もある。また、各国自慢の料理を持ち寄っての食事会もある。特に夜毎週パーティーがあり、クラスのみならず他のクラスの学生との交流が行われてとても親密になる。グラーツ大では歓迎パーティーが昼間一回のみある。

冬ゼメ(学期)が10月にはじまる。私は引き続きドイツ語コースB1/2を受講した。講義中心で発表もある。とにかく質問されたら話すことの重要さを感じた。少し引込んでいたら全部しゃべられてしまうことに気づいた。だからすぐに応えてしまうことにした。

試験は2回実施される。一方チュービンゲン大は試験を昼休みに毎週木曜日に行う。これには参った。法学部の授業についてグラーツ大では1年生の初歩的な科目を登録した。はじめ法学部の事務所に相談に行ったら助手の先生を紹介された。とても私と気があい、こういった科目を受講したいという1年生の科目を紹介してくれた。私の希望はオーストリア憲法 行政法、民法、刑法の基礎を学びたかった。助手の人はいい科目があるといってくれて6講義1科目のものを登録してくれた。この科目は2コマずつ3人の教授が担当し、講義のみである。この助手の方に困ったことはいつも相談に伺った。授業は10月の10日からクリスマス前の2ヶ月である。この試験が1月末に行われた。3名の教授が2コマ分ずつ試験をするものと思っていた。しかし、6講義分一緒に試験が実施された。朝8時から昼の1時30分まで試験は行われた。チュービンゲン大では法学部の事務室で基礎的科目を伺って前期3名の教授の授業を登録した。そして後期は同じ2名の教授の授業を登録した。法学部の授業にはいずれにせよ事前の準備が特に必要と感じた。

結びに2回留学をして学習をしたが、経験の大切さを実感している。成果のことを気にしないで、とにかく飛び込む、そしてあきらめないことが大切であると感じている。そのうちに語学も確実に身についてくる。若いうちにぜひ広大なHusaプログラムを活用してください。65歳の私にとってとても貴重な経験であった。これを生かして今後の人生を歩みたい。

生活の概要に関するレポート

私はこれまでにマイルを貯めていたのでマイルを使って飛行機のチケットを予約した。このチケットは2都市を周遊できるということで前回留学したチュービンゲンを観光してから、グラーツに入った。グラーツでは一泊ホテルを予約して一日市内をざっと見ておいた。

次の日寮に行ったら先に寮の事務所へ行くのだと寮生に言われた。チュービンゲン大は寮手続きの日程が事前にプリントで送られてきたのでわかりやすかった。今回とても分かりにくかった。そして寮の事務所に行った。事務所は留学生でゴった返していた。鍵だけ預かってもどった。チュービンゲン大では各寮にマスターがいるので寮の説明がそこで行われるが、グラーツ大では全く説明がされない。とりあえず、寝具が必要なので街中を歩いていたら20ユーロで2組セットの寝具が店先に安売りされていた。非常に助かった。寮の生活の始まりには注意が必要である。

交通に関して一般的に学生はゼメスターチケットを購入する。しかし、26歳までということで私は購入できなかった。代わりに40ユーロの一月定期、モナトカルテを購入した。チュービンゲンのゼメスターチケットは6ヶ月で67ユーロなのでとてもお得である。

毎日の生活に必要なものは食材である。高齢の私にとって日本食は欠かせない。まず炊飯器を購入した。幸いアジアショップで22ユーロの簡易なものが購入できた。米は市販の1リットル1ユーロのものを求めた。のりや卵、味噌も安いものを求め日本食の基本は整えた。また冷凍のマグロに解凍、味噌をぬったりして干物に似せた。冷凍のたらと豆腐でなべをしたりもした。これに加えてラーメン、焼きそばなど即席な物も用意してしのいできた。すし屋もあるが予約が必要とのことでほとんど行かなかった。私は朝食用のゼンメルというパンが好物だったので、ハムやチーズ、レタスで食べた。またレストランでカツが安いのでそれを買ってカツ丼を作って食べたりもした。帰る頃になってグラーツ郷土料理のレストランを知り結構気に入った。こんなことで日本食に似せてしのいだ。

そして金曜から日曜日は65歳以上OBBカードは有効で近くにもよく出かけた。リンツ、ザルツブルグ、インスブルックに出かけた。ほかに温泉もあるがこれは行けなかった。

外国での生活で注意をすることがある。生活になれてくるとどうしても日本にいるのと同じに気持ちになって安心しがちであるがそこが危ない。特にスリである。バッグ等には中にチャックが二重にあり、またカバーがかかかると安全の上に安全となるようなものを持ち歩きたい。

前回は一人だったが妻とも一緒であったので、生活は何とか普通の状態ですることができた。このことをあわせてお礼をいたします。